



彩の国
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光 1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

家畜衛生だより

令和7年3月発行

令和6年度第2回目

牛ウイルス性下痢(BVD)バルク乳検査 全戸陰性 でした。

令和7年2月17日(月)・18日(火)に実施した牛ウイルス性下痢(BVD)バルク乳検査ですが、県内全戸陰性を確認しました。

本県ではBVDの持続感染牛(PI牛)の早期発見のため、令和元年度から年に2回、県内の全酪農家を対象にバルク乳検査を実施しています。現在のところ、このバルク乳検査により、陽性牛を確認したことはありません。

しかし、BVDの発生は全国的に増加しており、県内でもPI牛の摘発事例があります。

来年度も検査へのご協力と、下記の対策をお願いします。

発生予防対策

- 導入牛(妊娠牛の場合はその産子も)は、その都度、検査を行いましょう。

検査手数料は600円/頭です。

※販売用子牛も検査を行い、BVDをまん延させないように努めましよう。

- BVDワクチンを接種して感染を予防ましよう。

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがありますが、妊娠牛には必ず不活化ワクチンを接種してください。

- PI牛と診断されたら、速やかにとう汰ましよう。

PI牛は完治することはなく、生涯ウイルスを大量に排出し、感染源となります。そのためPI牛と診断された場合には、(一社)埼玉県畜産会の補助事業などを活用し速やかにとう汰ましよう。

春先に向けた吸血昆虫対策を強化しましょう！

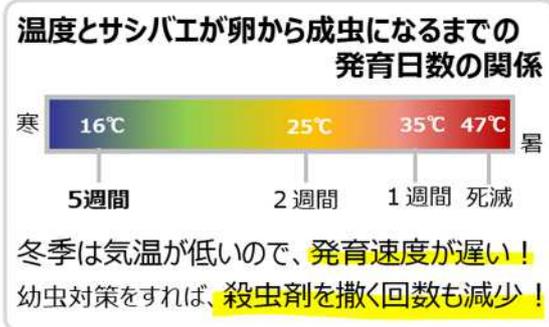
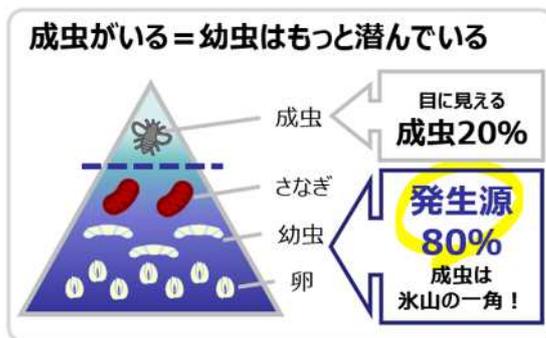
令和6年11月に日本で発生したランピースキン病は、これまでに福岡県で19農場、熊本県で3農場発生が確認されています。

本病を媒介する吸血昆虫が活発となる春先以降に再流行するリスクを最小限とするためには、春先に向けた吸血昆虫対策（特にサシバエ対策）が重要です！

吸血昆虫対策を強化して、牛を病気やストレスから守りましょう。



発生予防対策



農林水産省九州農政局作成リーフレット引用

1. 幼虫・さなぎ対策

- ① 堆肥の適度な切り返しと水分管理
- ② 牛舎内の清掃と昆虫成長制御剤（IGR剤）散布

幼虫対策が大事！



堆肥の切り返しは隅々まで！

牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！

つなぎ牛舎はバークリーナーへ散布！

農林水産省九州農政局作成リーフレット引用

2. 成虫対策

- ① 作用機序の異なる殺虫剤のローテーション
- ② 防虫ネットの設置、牛舎周辺の草刈り



地面や床から2mは防虫ネットで覆えるようにしましょう！隙間や穴がないか確認を！

殺虫剤はサシバエが飛ぶより上を狙って噴霧！

殺虫剤はローテーションを！噴霧量が十分か確認！

農林水産省九州農政局作成リーフレット引用